

【フラットエンジョイ 2020】

2020年、フラット化のもとに走り出した啓文社。これはまだ変化ではなく、自在に変化するために組織を“溶かした”に過ぎない。社員たちは、溶け合い、混ざり合った状態を「カオス」と名付け、楽しむことにした。昨日と同じやり方は捨て、このカオスから誰も予想できない“未来”を形づくるために・・・。

TOP STORY

フラット化をしくみ&つよみに

新組織図完成

今年始まったしくみや活動を中心に、新組織図が以下のとおり完成しました。一人ひとりがそれぞれのしくみや活動の目的の理解に努め、成果をイメージしながら前向きに行動しましょう。



社長の旅は続きます！

Our president going to XXX...

社内新聞継続決定！

啓文社の皆様、いつもお世話になっております。
少し立ち止まり、今年を振り返りましょう。本年いろいろとありましたが、何とか無事に終えることができそうで大変うれしく思います。これも皆さんの協力あってのことです。ありがとうございます。
私が社長に就任して早1年が経過しようとしています。いろいろと思い返してみれば、様々な出来事がありあつという間に1年が過ぎていきました。皆様にご迷惑ご心配をかけながらともに歩いてきたこの1年は、私の人生の中で大変貴重な1年だったと思います。そして皆様にとっても大変貴重な1年になったはずです。
これからもともに歩んでいけることがとてもワクワクして楽しみです。

さあ、過去を振り返るのはここまでとしましょう。これからは未来に向けて・・・。
今までの「シン・社長が行く」では私が出会ったものを中心にご紹介してきました。これからの「社長が行く」では出会ったものや私の考えや思い、その他伝えたいと思ったことを自由に書いていこうと思います。
私が生きていくうえでだれと出会い、何を考え、どう行動していくか。また様々な選択肢の中からどのような判断を下しているのか。少しでも多く、皆様にご理解とご協力をいただけるよう記事にしていきたいと思っています。
強い組織に必要な力。それは共通理解と信じ抜くこと。だと私は思います。みんながしっかりと同じ方

向を向き、仲間同士役割を分担し任せるところは信じて任せきる。
その後押しになるよう私自身、伝える力を磨いていきます。
来年も、素晴らしい年にしましょう。
それでは よいお年を～(^ ^)/

徳永辰太郎

カオス新聞は今回で終了となりますが、社内新聞の活動はリニューアルして継続します。「社長が行く」をはじめとして、商品カルテ使用状況などを発信する予定です。創刊号は来年1月末に発行予定。楽しみにお待ちください。

声をあげよう
改善につなげよう

毎月6 たまちゃん

ポジティブたまちゃん提出数：15（先月比+4）
ネガティブたまちゃん提出数：11（先月比-1）

来期もたくさん提出しましょう！



(キリトリ)

12月の行動振り返り

- ☐ 目標を常に意識して行動し、実行できた。
- ☐ 目標を一部実行できないこともあった。
- ☐ 目標を意識はしていたが、実行できなかった。
- ☐ 目標を意識も行動もしていなかった。

※来期からは活動方針に毎月の目標を書く欄が新設されます。

社長への手紙

社長はみなさんの意見や指摘、提案等を歓迎します。何かあったらここに書いて切り取って渡しましょう。

商品カルテ

使用状況およびアンケート結果報告

11/27~12/23 (回収: 205件)

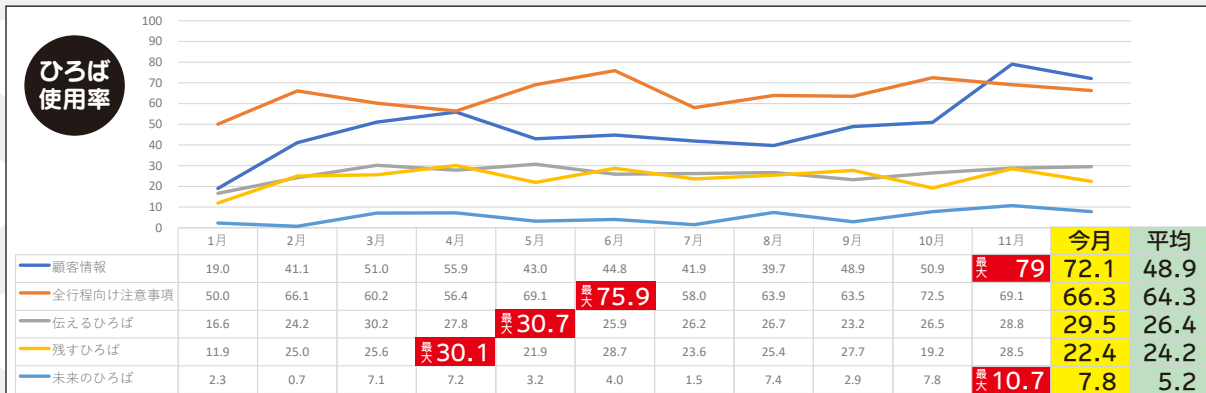
今月の営業
スローガン

村木さん: 今年一年の感謝を胸に…。
相良さん: 今年度最終月!

やり残しのないように!

社長: 情報伝達による事故ゼロ

※紙面の都合上今月のいいねシール、ひろば実例紹介は
次回まとめて報告します。



「商品カルテに関するアンケート」結果報告

※回答: 17名(社長・有働を除く全スタッフ)

★以前の「作業指示書」と商品カルテを見比べながら、作業時の実感や商品カルテに関する考えなどを答えていただきました。

1. ポジティブな回答が多数だったもの



【見やすくなった!】

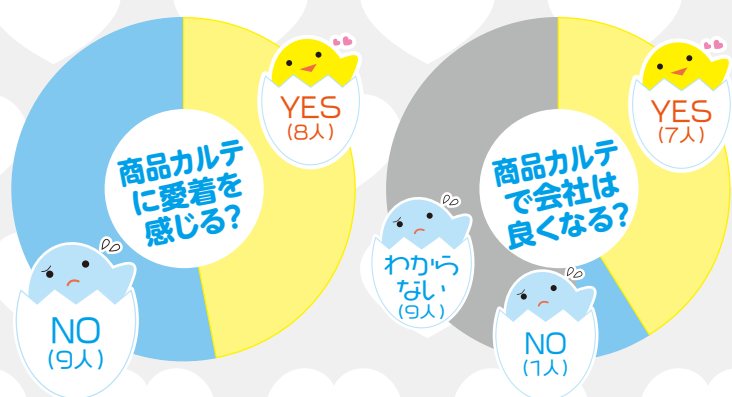
- ・大きくなり担当者の意見等 **(生の声)** がわかるようになった (本越さん)
- ・ **工程ごと**に見やすい (福島さん)

【作業はいまだに不安…】

- ・ **商品カルテ記入者が間違っている時がある**ため (上野さん)
- ・ **見ずに作業をされている人がいる**ため (そこは以前と変わらない) (上村さん)

みなさんの声
(一部抜粋)

2. ネガティブな回答が多数だったもの



【愛着を感じる!】

- ・ **「ひろば」に愛着**を感じる (上野さん) ・ **よく見るようになった**から。顧客情報の記載を見ると知らないことも多く、情報共有できて良い。 (鐘ヶ江さん)
- ・ ひろばの活用で **“会話”** のようなものが成立していると感じているから (奥添さん)
- ・ **記入**するから (有谷さん) ・ **ネーミング** (経理部長)
- ・ 皆さんの考えを知ることができ、たくさんの **発見**がある。 (松永さん)

【商品カルテで会社は良くなる!】

- ・ 各課で関わった人が気付いたり足りない情報をカルテに記入する事で、回数を重ねる度に情報が増え、誰が携わっても同じ製品ができ **安定していく**のだと思います。 (中野さん)
- ・ **顧客情報の深掘り**と、物件毎に各々が次のための情報を盛り込むことができる (経理部長)
- ・ 事故防止の観点から、無駄なコスト削減につながる。お客様や商品への想い・愛着を同時に持つことができ、 **良い人格形成**にも役立つ。 (村木さん)

みなさんの声
(一部抜粋)

3. 要改善点(各自の意識で改善できるもの)

- ・ 書いてある注意事項がこちらから言わないとできていないことがあった。 (鶴田さん)
- ・ **変更があった際のスピード**が遅く感じることがある。(営業→編集→生産管理の流れ) (奥添さん)
- ・ たまに **加工・仕上の記入がない**時がある。 (福島さん)
- ・ **納期の日付や曜日が違う**ことがたまにある。 (河野さん)
- ・ **顧客情報欄がもう少し記入があれば**、お客様のことを理解しながら仕事ができるのではないかな。 (本越さん)

4. 要改善点や提案(システムや仕様等の見直しが必要なもの)

- ・ 伝票類の外注が多いので左下の **加工・仕上欄**が使用しづらい。 (相良さん)
- ・ 文字が小さい所が **五木ひろし**にならないと見えない。 (上野さん) ・ **システムの不備** (上村さん)
- ・ 作業指示書でもそうでしたが、 **確認欄の日付と名前のスクロール選択**がしづらい。 (松永さん)
- ・ データや記録を残す際、意味が分かりづらいケースがあり、実際記入する人が入力も併せて行った方が良い。 (相良さん) ・ 「変更通知書」のシステムをカルテの方に取り込めないか。 (奥添さん)
- ・ 手提袋に関して、 **製品のデザインがカルテを見ただけで判別**できるような画像が貼り付けられるシステムが当たり前のようになれば便利だと思う。 (松永さん)
- ・ 将来はペーパーレス、部署別PC (iPad) で! (村木さん)

商品カルテは水です ~カオス新聞編集後記~

商品カルテになくはならない「ひろば」の4つの枠には共通点があります。それは、「自分以外の人のことを考えながら書き込むスペース」だということです。

次の工程で作業する人のために「伝えるひろば」に書き込む。次回以降の注文のとき同じ作業をする人のために「残すひろば」に書き込む。会社の未来のために「未来のひろば」に書き込む。そして、お客様のことを「顧客情報欄」に書き込む。

D. ウォレスという作家が大学生に向けた、「これは水です」というスピーチの中で言っています。

「人間の脳ミソの初期設定では、世界の中心は“自分”である。無意識にそんな脳ミソの奴隷になって、孤独や苛立ちのなかで生きるか、そうでない人

生を生きるかは、“何を考えるかを選びとる”ことにかかっている。ほんとうの自由とは、単調で取るに足りない日々の繰り返しのなかで、自分以外の人々のことを気にかけて、彼らのために毎日何度でも犠牲をはらうことである。」※

商品カルテはオアシスの水です。お客様のことや、他部署の仲間が残した書き込みであふれ、読めば必ずよい商品づくりの助けとなります。反対に、書き込みをしようという意志が誰にもなければ、ただの空白となり枯れてしまいます。

商品カルテが、たんに必要最低限の指示命令のためのツールではなく、全スタッフが思いやりをもって自由に書き込むことで、協力し合う風土の土台となり、お客様の繁栄につながっていくツールとなるよう、今後も改善や取り組みを続けていきます。

しあわせの意見箱会議 有働牧子

※This is Water by David Foster Wallace (<https://fs.blog/2012/04/david-foster-wallace-this-is-water/>) より一部抜粋して翻訳・編集